
柏崎刈羽原子力発電所 炉内点検について

平成19年9月6日

東京電力株式会社

炉内構造物の目視点検（概要）

■ 点検方針

- 定検中で原子炉圧力容器上蓋が開放されていた1号機および1号機とは炉型が異なる7号機から順次点検を実施する。
- 損傷や有意な変形の有無および機械締結部（ボルトや嵌め合い等）について、脱落等の異常の有無を確認する。

■ 点検方法

- 燃料交換機あるいは作業台車上から、水中照明および水中カメラを使用して、炉内構造物全体の目視点検を行う。
- 各炉内構造物の目視点検を実施する。

燃料、制御棒の点検（概要）

■ 点検方針

- 地震時、原子炉に燃料が装荷されていた全てのプラントを対象に、燃料、制御棒の損傷や有意な変形等の異常の有無を確認する。

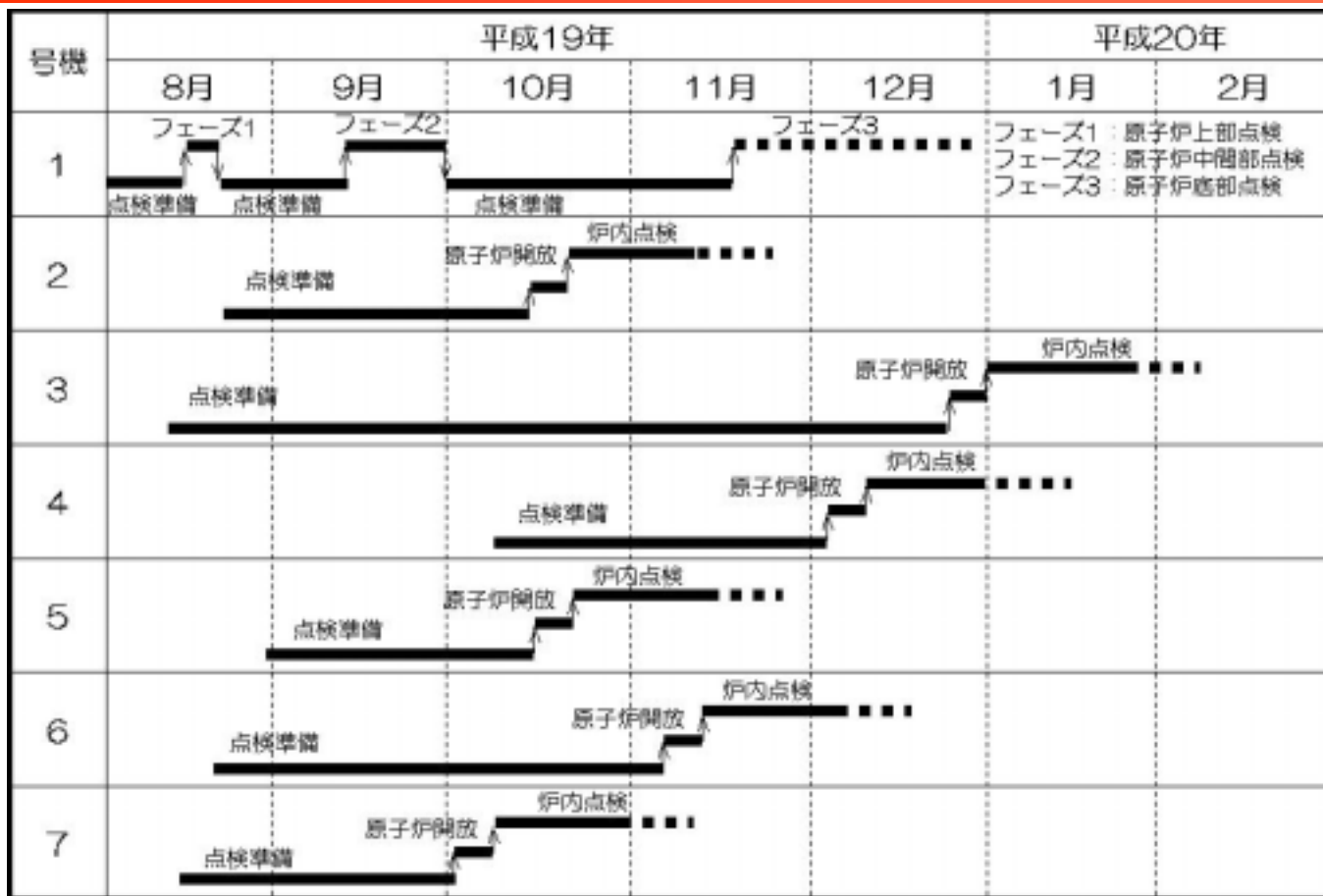
■ 点検方法

- 燃料上部から目視点検を実施することにより、燃料の配置等に異常がないことを確認する。

他

全体工程（計画）

平成19年9月6日時点



点検結果の公表

■ 点検結果について

- 点検結果については、号機毎、点検フェーズ毎 に結果がまとめり次第公表する。
- 点検中に不適合が確認された場合については、公表区分に応じて公表する。

2～7号機については、フェーズ1およびフェーズ2を同時期に実施・公表予定。

【参考】炉内構造物の点検方法

■ フェーズ 1（原子炉上部点検）

- 炉内の様子を確認するため、上方から炉内全体を水中カメラにより目視した後、原子炉圧力容器フランジ面から上部格子板までの範囲について点検を実施する。

■ フェーズ 2（原子炉中間部（炉心部）点検）

- 上部格子板から炉心支持板までの範囲および炉心シュラウド外周部（アニュラス部）に水中カメラを投入し、目視点検を行う。
また、炉内から取り出されているドライヤ・セパレータについても確認する。

■ フェーズ 3（原子炉底部点検）

- 点検の際に干渉物となる、CR（制御棒）やFS（燃料支持金具）等を炉外に移動させた後、炉心支持板から炉底部までの範囲を確認する。